

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産(商品)／インデックス型
信託期間	2005年9月21日から2015年10月20日までです。
運用方針	「ブルームバーグ商品指数 [※] 」が表す世界の商品(コモディティ)市況全体について、その中長期的な動きを概ね捉える投資成果を目指して運用を行います。投資にあたっては、複数の発行体が発行する仕組債等に投資するよう努めます。ただし、ファンドの純資産総額が少ない場合等には、複数の発行体が発行する仕組債等へは投資できない場合があります。外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ※当ファンドでは「Bloomberg Commodity Index」を「ブルームバーグ商品指数」といいます。
主な投資対象	ブルームバーグ商品指数の騰落率に償還価額等が連動する、外貨建ての証券(指数連動債または指数連動証券等(以下「仕組債等」といいます。))を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への直接投資は行いません。株式への投資は、転換社債を転換および新株予約権を行使したものに限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

野村コモディティ投信 (ブルームバーグ商品指数)

第9期(2014年10月20日決算)

運用報告書

受益者のみなさまへ

平素は野村コモディティ投信(ブルームバーグ商品指数)にご投資いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、当ファンドは、このたび第9期決算を行いましたので、期中の運用状況につきましてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

＜お知らせ＞

「DJ-UBS商品指数」が「ブルームバーグ商品指数」に名称変更されたことに伴い、ファンドの名称を「野村コモディティ投信(DJ-UBS商品指数)」から「野村コモディティ投信(ブルームバーグ商品指数)」に変更するとともに、約款文中の指数名称についても変更を行いました。(変更適用日：'14年7月16日)

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

<http://www.nomura-am.co.jp/>

<http://www.nomura-am.co.jp/mobile/>



◎最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参照指標		債券 組入比率	債券 先物比率	純資産
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	ブルームバーグ商品指数 (円換算ベース)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
5期(2010年10月20日)	6,463	0	△ 6.8	60.61	△ 5.7	99.2	—	2,996
6期(2011年10月20日)	6,084	0	△ 5.9	57.81	△ 4.6	98.9	—	2,413
7期(2012年10月22日)	6,305	0	3.6	60.25	4.2	99.0	—	2,043
8期(2013年10月21日)	6,774	0	7.4	65.48	8.7	99.7	—	1,670
9期(2014年10月20日)	6,652	0	△ 1.8	65.30	△ 0.3	99.6	—	1,313

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参照指標		債券 組入比率	債券 先物比率
	騰落率	ブルームバーグ商品指数 (円換算ベース)	騰落率			
(期首) 2013年10月21日	円	%		%	%	%
	6,774	—	65.48	—	99.7	—
10月末	6,701	△ 1.1	64.73	△ 1.1	99.4	—
11月末	6,792	0.3	65.66	0.3	99.5	—
12月末	7,214	6.5	69.79	6.6	99.6	—
2014年1月末	6,966	2.8	67.43	3.0	99.4	—
2月末	7,215	6.5	70.53	7.7	99.6	—
3月末	7,358	8.6	71.96	9.9	98.5	—
4月末	7,544	11.4	73.84	12.8	98.6	—
5月末	7,261	7.2	71.08	8.6	99.2	—
6月末	7,299	7.8	71.47	9.1	99.9	—
7月末	6,995	3.3	68.56	4.7	99.6	—
8月末	6,934	2.4	68.00	3.8	99.5	—
9月末	6,971	2.9	68.40	4.5	99.4	—
(期末) 2014年10月20日	6,652	△ 1.8	65.30	△ 0.3	99.6	—

*騰落率は期首比です。

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*参照指標は、営業日前日のブルームバーグ商品指数SM(米ドルベース)をもとに、営業日当日の米ドル為替レート(対顧客電信売買相場仲値)で当社が独自に円換算したものです。なお、設定時を100として指数化しております。*ブルームバーグ商品指数(Bloomberg Commodity IndexSM)および「ブルームバーグ(Bloomberg[®])」は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー(Bloomberg Finance L.P.)およびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)のサービスマークであり、野村アセットマネジメントによる一定の目的での利用のためにライセンスされています。ブルームバーグ商品指数(Bloomberg Commodity IndexSM)は、ブルームバーグとUBSセキュリティーズ・エル・エル・シー(UBS Securities LLC)の間の契約に従ってブルームバーグが算出し、配信し、販売するものです。ブルームバーグ、ならびにUBSセキュリティーズ・エル・エル・シーおよびその関係会社(以下「UBS」と総称します。)のいずれも、野村アセットマネジメントの関係会社ではなく、ブルームバーグおよびUBSは、野村コモディティ投信(ブルームバーグ商品指数)を承認し、是認し、レビューしまたは推奨するものではありません。ブルームバーグおよびUBSのいずれも、ブルームバーグ商品指数に関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性を保証するものではありません。

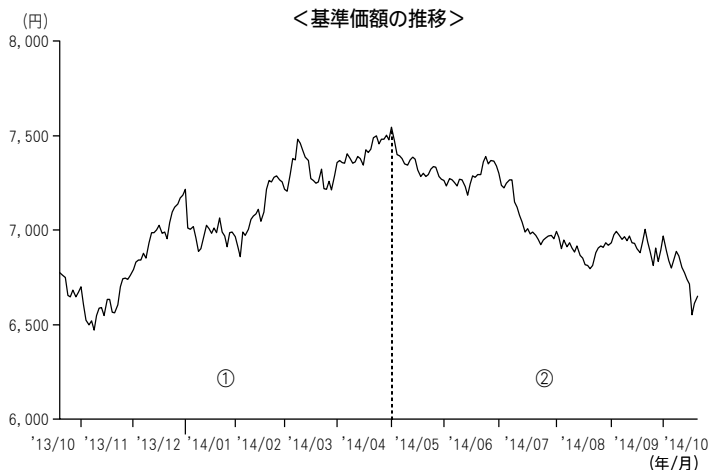
※名称変更しております(旧名称:DJ-UBS商品指数)

◎運用経過

1. 基準価額の推移

* 基準価額は1.8%の下落

基準価額は、期初6,774円から期末6,652円に122円の値下がりとなりました。



期 初	期中高値	期中安値	期 末
'13.10.21	'14. 4.30	'13.11. 8	'14.10.20
6,774円	7,544円	6,473円	6,652円

○主な変動要因

①の局面(期初～'14年4月下旬)

<基準価額が上昇した局面>

●商品市場の要因(プラス寄与)

大豆粕、農産物、家畜、穀物およびエネルギーセクターが上昇し、当局面における寄与はプラスとなりました。

●為替市場の要因(プラス寄与)

為替レートは円安・ドル高となり、当局面においてプラスに作用しました。

②の局面('14年4月下旬～期末)

<基準価額が下落した局面>

●商品市場の要因(マイナス寄与)

家畜を除くすべてのセクターが下落し、当局面における寄与はマイナスとなりました。

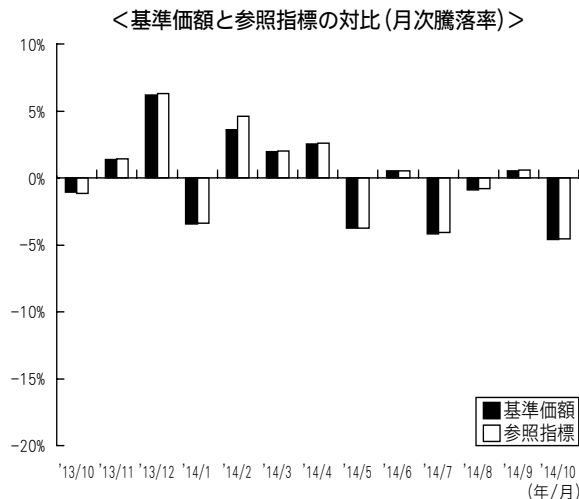
●為替市場の要因(プラス寄与)

為替レートは円安・ドル高となり、当局面においてプラスに作用しました。

(注)ブルームバーグ商品指数(8セクター)：エネルギー、非鉄、貴金属、穀物、家畜、農産物、植物油、大豆粕

○参照指標（ブルームバーグ商品指数の円換算）との対比

参照指標が-0.3%となったのに対し、基準価額の騰落率は-1.8%となりました。



(注) '13年10月は期初から当月末まで、'14年10月は月初から期末までの期間で計算。

(主なプラス要因)

指数連動債の組入比率が100%を下回ったことにより、下落局面では参照指標ほど下落しなかったこと。

(主なマイナス要因)

指数連動債の組入比率が100%を下回ったことにより、上昇局面では参照指標ほど上昇しなかったことや、信託報酬および売買コスト。

2. ポートフォリオ

○期中の主な動き

運用方針に基づき、ブルームバーグ商品指数の騰落率に償還価額等が連動する外貨建ての証券を主要投資対象としました。外貨建ての証券への投資に際してはA格以上の複数の発行体に分散投資しました。外貨建ての証券の組み入れ比率は高位を維持しました。

○為替ヘッジ

外貨建て資産について為替ヘッジは行いませんでした。

3. 投資環境

[期初～'14年4月下旬]

エネルギーセクターでは、天然ガスは、米国における厳しい気温低下により暖房需要が高まると見込まれたことなどから上昇しました。家畜セクターでは、豚赤身肉は、米国において豚を死に至らせるウイルスの感染が拡大し豚肉供給が減少するとの見方が広がったことなどから上昇しました。穀物セクターでは、大豆は、米国において米農務省による期末在庫の推定値が下がり需給逼迫の観測が強まったことなどから上昇しました。

['14年4月下旬～期末]

農産物セクターでは、トウモロコシは、米国中西部の産地における良好な天候と順調な作付が見込まれたことや、米農務省から今秋の収穫量が過去最高になるとの見込みが発表されたことなどから下落しました。エネルギーセクターでは、原油は、世界景気の回復が穏やかで原油需要の伸びが抑えられ、原油の供給過剰感が強まったことなどから下落しました。

(ご参考)

ブルームバーグ商品指数の構成比('14年9月30日現在)

	構成比
エネルギー	31.65
天然ガス	9.68
原油	8.75
プレント原油	6.19
ヒーティング・オイル	3.55
無鉛ガソリン	3.48
非鉄	18.00
銅	7.13
アルミニウム	5.50
亜鉛	2.74
ニッケル	2.63
穀物	13.99
トウモロコシ	5.75
大豆	4.32
小麦	2.81
KCBT小麦	1.11

(単位=%)

貴金属	15.84
金	12.05
銀	3.79
農産物	9.57
砂糖	4.30
コーヒー	4.06
綿(コットン)	1.21
家畜	6.35
生牛	4.16
豚赤身肉	2.20
大豆粕	2.05
大豆粕	2.05
植物油	2.56
大豆油	2.56
合計	100.00

*当ファンドでは、“Bloomberg Commodity IndexSM”を「ブルームバーグ商品指数SM」といいます。なお、当ファンドでは、ブルームバーグ商品指数を円換算したものを運用にあたって参照する指標とします。この指標は、ブルームバーグ商品指数を委託会社が独自に円換算したものであり、Bloomberg Finance L.P. およびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)が算出する指標“Bloomberg Commodity Index YenSM” (“BCOMJYSM”)とは異なります。

ブルームバーグ商品指数とは、商品(コモディティ)への投資のためのベンチマークの提供を目的として、ブルームバーグとUBSセキュリティーズ・エル・エル・シー(UBS Securities LLC)の間の契約に従ってブルームバーグが算出している指数です。2014年10月現在、指数を構成する商品先物は、アルミニウム、プレント原油、コーヒー、銅、トウモロコシ、綿(コットン)、原油、金、ヒーティング・オイル、KCBT小麦※、生牛、豚赤身肉、天然ガス、ニッケル、銀、大豆、大豆油、大豆粕、砂糖、無鉛ガソリン、小麦および亜鉛です。指数の構成銘柄や構成割合は年1回見直されます。

※KCBT小麦とは、カンザスシティ商品取引所に上場している小麦の商品先物のことです。

4. 分配金

- (1) 収益分配は、基準価額水準等を考慮して見送らせていただきました。
- (2) 留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

◎今後の運用方針

- ・ブルームバーグ商品指数が表す世界の商品(コモディティ)市況全体について、その中長期的な動きを概ね捉える投資成果を目指して運用を行います。
- ・外貨建て資産について為替ヘッジは行いません。

今後とも変わらぬご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

◎ 1万口当たりの費用の明細

項 目	前 期	当 期
(a) 信 託 報 酬	88円	96円
(投 信 会 社)	(42)	(46)
(販 売 会 社)	(42)	(46)
(受 託 銀 行)	(4)	(4)
(b) 保 管 費 用 等	1	1
合 計	89	97

* 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 保管費用等は、期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

* 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

◎期中の売買及び取引の状況(自 2013年10月22日 至 2014年10月20日)

● 公社債

	買 付 額	売 付 額
外 国		
ア メ リ カ	千米ドル	千米ドル
特 殊 債 券	15,080	18,575

* 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

* 単位未満は切り捨て。

◎主要な売買銘柄(自 2013年10月22日 至 2014年10月20日)

● 公社債

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
DJUBS/BARCLAYS 15/3/23(アメリカ)	814,647	DJUBS/BARCLAYS 14/2/28(アメリカ)	877,241
DJUBS/UBS 15/3/23(アメリカ)	722,688	DJUBS/CREDIT SUISSE 14/2/28(アメリカ)	869,403
		DJUBS/BARCLAYS 15/3/23(アメリカ)	114,199
		DJUBS/UBS 15/3/23(アメリカ)	39,794

* 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

* 国内の現先取引によるものは含まれておりません。

◎利害関係人との取引状況等(自 2013年10月22日 至 2014年10月20日)

(1) 期中の利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
公 社 債	1,537	—	—	1,900	—	—
為替直物取引	—	—	—	360	250	69.4

(2) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額 (A)	—千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額 (B)	—千円
(B) / (A)	—%

*利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

◎組入資産の明細

●外国(外貨建)公社債

区 分	期 首					当 期 末								
	組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率			額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率			
			5年以上	2年以上	2年未満		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満	
	%	%	%	%	%	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%	
ア メ リ カ	99.7	—	—	—	99.7	13,600	12,211	1,308,426	99.6	—	—	—	99.6	
合 計	99.7	—	—	—	99.7	13,600	12,211	1,308,426	99.6	—	—	—	99.6	

*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

*金額の単位未満は切り捨て。

*—印は組み入れなし。

*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

外国(外貨建)公社債銘柄別

種 類	銘 柄 名	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		%	千米ドル	千米ドル	千円	
特殊債券(除く金融債)	DJUBS/BARCLAYS	—	6,900	6,153	659,368	2015/3/23
	DJUBS/UBS	—	6,700	6,057	649,057	2015/3/23
合 計		—	—	—	1,308,426	—

*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

◎投資信託財産の構成

(2014年10月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	1,308,426	98.7
コール・ローン等、その他	16,761	1.3
投資信託財産総額	1,325,187	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建て純資産(1,311,991千円)の投資信託財産総額(1,325,187千円)に対する比率は99.0%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=107.15円。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

◎損益の状況

(2013年10月21日)、(2014年10月20日)現在 前期(自2012年10月23日 至 2013年10月21日) 当期(自2013年10月22日 至 2014年10月20日)

項 目	期 首		当 期 末		
	円	円	円	円	
(A)資 産	1,685,341,443	1,325,187,805	(A)配 当 等 収 益	1,029,025	975,053
コール・ローン等	19,090,034	16,761,346	受 取 利 息	10,849	6,086
公社債(評価額)	1,664,291,382	1,308,426,436	そ の 他 収 益 金	1,018,176	968,967
未 収 入 金	1,960,000	-	(B)有 価 証 券 売 買 損 益	135,197,300	△ 6,304,264
未 収 利 息	27	23	売 買 益	413,199,863	152,200,733
(B)負 債	15,281,889	11,336,218	売 買 損	△ 278,002,563	△ 158,504,997
未 払 金	1,961,000	-	(C)信 託 報 酬 等	△ 25,107,019	△ 20,402,481
未 払 解 約 金	1,622,216	1,484,695	(D)当 期 損 益 金 (A+B+C)	111,119,306	△ 25,731,692
未 払 信 託 報 酬	11,680,045	9,835,847	(E)前 期 繰 越 損 益 金	△ 826,814,842	△ 566,572,927
その他未払費用	18,628	15,676	(F)追 加 信 託 差 損 益 金	△ 79,537,391	△ 68,944,609
(C)純 資 産 総 額 (A-B)	1,670,059,554	1,313,851,587	(配 当 等 相 当 額)	(70,190,213)	(57,319,593)
元 本	2,465,292,481	1,975,100,815	(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 149,727,604)	(△ 126,264,202)
次 期 繰 越 損 益 金	△ 795,232,927	△ 661,249,228	(G)計 (D + E + F)	△ 795,232,927	△ 661,249,228
(D)受 益 権 総 口 数	2,465,292,481口	1,975,100,815口	(H)収 益 分 配 金	0	0
1万口当たり基準価額(C/D)	6,774円	6,652円	次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△ 795,232,927	△ 661,249,228
			追 加 信 託 差 損 益 金	△ 79,537,391	△ 68,944,609
			(配 当 等 相 当 額)	(70,190,213)	(57,319,593)
			(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 149,727,604)	(△ 126,264,202)
			分 配 準 備 積 立 金	130,465,632	104,389,002
			繰 越 損 益 金	△ 846,161,168	△ 696,693,621

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注)期首元本額2,465百万円、期中追加設定元本額22百万円、期中一部解約元本額512百万円、計算口数当たり純資産額6,652円。

◎分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税引前)

		第9期
当期分配金		—
	当期の収益	—
	当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額		818

(注記) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎分配金の明細

(単位：円、1万口当たり、税引前)

		第9期
当期の収益		—
	経費控除後の配当等収益	—
	経費控除後・繰越欠損補填後の売買益(含、評価益)	—
当期の収益以外		—
	分配準備積立金(配当等収益)	—
	分配準備積立金(有価証券売買等利益)	—
	収益調整金(有価証券売買等損益相当額)	—
	収益調整金(その他収益調整金)	—

(注記) 「分配原資の内訳」中の分配金の明細を示したものです。小数点以下を切り捨てて表示しているため、表記の数値が合わない場合があります。

<お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日(以下「申込不可日」といいます。)があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようよろしくお願いいたします。

(2014年10月20日現在)

年 月	日
2014年10月	—
11月	11、27
12月	25、26

※2014年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ(<http://www.nomura-am.co.jp/>)にも掲載いたしております。